

脚色者
監督者
撮影者
主要役割

伊勢屋太
兵衛
女房お清
番頭幸七
丁稚捨松

帝キネ
小阪映
畫

覆面
長尾
史冠者氏
庸氏

植木屋吉三
侍木野早太
司酒輪好之助
「略筋省略」
脚語「花見の仇討」の脚色したらしいが如何に
脚本難の今日とはいへ斯んなものを製作しなければならないのかと嘆かせらる程、何の取扱もされぬ馬鹿々々しい喜劇である。唯程低級な観客の如きを求める丈で、監督（亦それには寧ろ努力して観客の笑ひを博す）は花見氣分位でのんきに思はれる。俳優も花見氣分位でのんきに思はれる。併し花見氣分位でのんきに思はれない。それからアーテスト・シンの津守玉勿に居るが如きではない。それに不手際な色彩が施してあつたが、見る帝キネの悪趣味は考へるものもある。（五月一日 神戸松本座）――山本謙葉――

嵐尾上
阪東妻
豊昇瀬氏
璃徳氏

衣嵐
守笠
笑玉
市川百々之助氏

橋石衛門氏
みどり娘
三枝娘